

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	大日本印刷株式会社	事業所名	久喜工場				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	社内物流システムで、トンキロ法により排出量を把握。グループ環境目標に基づき、各サイトでの活動推進及び進捗把握の為、半期ごとに環境レポートを作成報告し課題の抽出を行っている。			○	○	○
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	(1)項の環境レポートは物流を含む全グループ会社を対象である。レポートに対して全体集約の推進会議を実施し情報共有を図っている。又、1回/年の社内監査により状況確認及び推進サポートを行っている。			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	委託先に対し、法令上提出義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出を確認する。			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	委託先に対し、ISO14001認証取得状況他、環境配慮経営を行っていることを確認する。			○	○	○
03	物流拠点の活用による輸配送の効率化 ()	委託関係会社が保有する物流センターの活用により、他事業所(者)の荷物を含めた効率的な輸送を行う。			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	自動化設備による製品梱包の統一化を継続管理			○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上による輸配送の効率化 （02） 混載便の利用や共同輸配送の取組	混載便利用による積載率の向上、および輸送回数の削減を実施。また、帰り荷の配送管理を実施	○	○	○
04 積載率の向上による輸配送の効率化 （03） 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	各車種の積載量、及び輸送量の把握・管理を徹底し、発送効率の向上を実施	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 （01） 発注時間及び配送時間のルール化	生産と連動したシステムを活用し、事前に配送計画を立てる。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 （03） 輸送車両の待ち時間の削減	生産と連動した発送システム管理により、発注・配送計画・配送時間の管理を徹底。	○	○	○
06 その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組 （ ）	製造拠点の集約による横持ち輸送の削減	○	○	—
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 （01） 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車（以下、「低燃費車等」）の利用要請	デジタルタコメータ、ドライブレコーダーの設置。車両切替に当たり低公害・燃費車両（CNG、ハイブリッド車等）の採用を要請。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 （02） 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請	アイドリングストップの徹底、車両5S点検、エコドライブ含む国交省告示に基づく研修教育の定期的な実施を要請。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進</p> <p>(03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施</p>	<p>(1)(2)項目を含め、活動状況を環境レポート(半期毎)にて確認。定期推進会議及び社内監査にて推進をサポートする。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進</p> <p>(04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組</p>	<p>構内に荷捌き場、待機駐車場所を確保しているため、維持管理を徹底</p>	○	○	○
<p>08 サードパーティーロジスティクスの活用</p> <p>()</p>	<p>グループ内物流会社による、生産計画と連動した配送の効率化</p>	○	○	○
<p>10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減</p> <p>()</p>	<p>当事業所のみならず、全国グループ全体を統合する基幹システムと物流部門のシステム連携による情報一元管理により、物流の効率化を図り環境負荷削減に貢献する。</p>	○	○	○